人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 一ヶ月金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢
月曜日及び祭日の翌日は休日（日刊）
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久靜一郎
發行所 京城新報社 京城四小門通
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

史譚



臨終の奈破翁

第五回 山水道人

深愁一夜。頭髪爲めに白しと云ふを。これはまた。瘴氣病氣深く鎖せる孤島の裡。その生活は拘束され。あらゆる自由は奪ひ去られて。晨に冷遇夕に侮辱。心に何の安慰も無く。身に饗時の事時もあらで。孤憤感々漏すに由なく。憂悶仲々誰にか語らむ。愴然として獨り悲しみ。悄然としては自ら傷みつ。慘憺たる星霜は茲に暮れて孤島の春秋五年を經たり。

皇帝の健康は著しく害はれぬ!!

惱める心痛める身の。また昔日の雄心なく。流石精剛の氣も折れて。曾ては若やぎの色麗はしく。輝きし顏の生色も失せ。華々しき笑ひの影も浮ばずなりて。眉宇の愁雲漸く暗く。形容枯槁。失意の黄昏鎖魂の惱ぎ。微けき力一縷にとめて。近侍の扈從は其の餘命既に幾何も無きを危ぶみぬ。

果然!!!!

紀元一千八百二十一年三月二十一日

‖これ何の日ぞ‖彼がエルバを脱してパリーに侵入せし。五週年の當日ならむとは!!

彼はその胃腑の上部にあたりて。激烈なる疼痛を覺へつ。

疼痛は軈て胸部より背部に波及し。劇しき痙攣は胸腔を緊壓して。殆んど窒息しなむ斗り。

發熱熾んにして體は燃ゆるが如し。かくて熱は數時間にして少しく去りしも這は如何に。脚部の冷却氷の如し。

明智なる彼は。症狀の變化を見て。茲に獨り其致命の重患なるを觀念しぬ。

此時。ベルトラン夫人は皇帝を訪ねて。枕頭に立ちしかば。ナホレオンは强いて苦痛を忘れつゝ。努めて靜平を裝ひながら。微笑を以て對話せしも。うは纔かに數分に亙る極めて短かき時間にして。彼は旋て再び病苦に襲はれぬ。

沈痛!!

陰鬱!!

皇帝は呻吟の間より。喘ぎ喘ぎ辛くも夫人に別辭を陳べぬ。夫人は袂を濡しつ。やがて靜かに室を出で行けり。

・・・・・

病勢は漸く重り來りぬ。

皇帝は自ら臨終の近きを知りぬ!!

侍醫アントマルシ及び。英國より隨伴し來れるアルノットの兩國手は。凡てに於て不便なる孤島に在りて。猶は且つ其方法と手段とを盡して。出來得る限り病を醫りぬ。

あゝ。されど皇帝の命は定まりしか?

病勢は次第に革まり行くのみ。

兩國手のあらゆる苦心も。たゞ病苦を和げて。僅かに其死期を遲くするに過ぎざりき。

今や。皇帝の心裡には。マレンゴーも無く。アウステルリッツもあらず。されどもされど。斯る瀕死の境にして。聽て絶ねなむ玉の緒の。亂れ勝ちなる苦悶の裡にも。只一事。束の間も心頭を去らざるものこそあれ。

何ぞ?

そはマリー、ルイザの面影なり!!

彼れルイザや。その皇帝の命運茲に盡くるを知るや。無情にもナポレオンが。渾身の血も沸かなむ程の。熱き誠の愛に背きて。れのが心にたゞひつ可き。薄き袂を拂つて去りぬ。

而も皇帝はその臨終の折り迄も。彼を想ひ彼を慕ふて情緒纏綿。哀思永くひいて絶つに由なく。果敢なき望の影を追ふて。徒らに怨恨の涙をぞ呑ぬ。

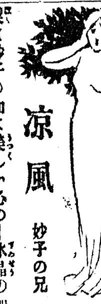
人よ忘りに痴と呼び陋と言ふを已めよ。英雄な血由來狂熱に沸き易きを。

毒草のいろいろ

▲毒突木 一名味噌焼かずとも云ふ此木で味噌を焼けば中毒すると云ふのだ。落葉ノ灌木で、葉は稍南天燭に似てゐる、花は穗狀をなし、赤色艶美の圓き實を結ぶ、多く原野又は海邊に生ずるが實の美しい處から、小供が誤まつて食べ、忽ち中毒して死することがある。葉を採んで飯に交ませて食はせると鼠斃になる。

▲旋花 美くしい朝顔も、有毒植物である、朝顔の葉を書冊の間に差して置けば蟲の附かぬのも、毒がある爲めである。

▲其他普通の毒草では ホヽヅキ、山ゴボウ、タカトウダイチヤンハギク タガラン、キツネノボタンなど澤山にある、植物の莖葉に有色液を含むか果實に美色あるか、或は苛辣の味あるものは概して有毒である、又是等植物の毒は其の刺、惡臭などと共に自体の保護組織である。



涼風

妙子の兄

僕は妙子の如な美しい心の―水晶の如な如何なる色も染め汚すことの出來ぬ美しい心を持つて居る娘の兄と生れたことを衷心から神佛に感謝して居る。僕は彼れの心は決して穢される憂はない、浮屠子の所謂彼の世、基督の所謂天國、夫れへ其の靈魂の生れ出づるまで如何なる誘惑にも心を動かすことなきを信ずる。彼れは白きを好む、赤に紫に緑に碧に黄に紅に他の若き女の心を動かす色は嫌ひぢやないが好かぬ、彼れは誘惑される素質に全然缺乏した資性を持つて居る。僕は避暑を兼ねて彼れが十歳の夏、內地へ旅行した、出立の當時停車場に愛犬の白と共に僕を見送つた妙子は其の一點濁りのない眼に心を語らせて只つた一言『れ早くよ』と情に堪へられぬ如く潜んだ其の眼は耀く。平常でさへ堪らなく可愛い妙子だ、一時は旅行を中止しようかとも思つた位だつた。

『れ土產は何が好い?白百合?』

と訊くと鮮に冠を橫に振つて

『涼しい―風をね』

如何に其聲の涼しかりしことよ。

◎新刊紹介

△社會政策（七月號） 板垣伯の『社會主義を論ず』『帝國の外交策』『酒造官營論』着眼凡を拔く政治を論ずる者は必らず讀まざる可からず水野博士の『改正市町村制に就て』を始め有要なる記事多し（一冊十五錢東京市芝區公園五號社會政策社）

△東京經濟雜誌（千六百一號） 社說『日獨條約の改正』『株式取引所改善策』『日獨條約の改正』『輸出超過悲觀すべきか』孰れも時宜に適せる評論在り山本唯三郎氏の『對淸政策管見』益々佳境に入る（東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社一冊十二錢）

△家庭之友（七月の卷） 家庭雜誌中の白眉にして本誌には『我子の嫁はどんなのが良いか』棚橋絢子『酒亂の良人が禁酒した動機』某夫人等爲になる讀物甚だ多し（一冊十一錢東京市本郷區東片町新公論社）

△銃獵界（第七卷第六號） 銃獵趣味を鼓吹して餘す所なし（一部十二錢橫濱市本町二丁目金丸銃砲店）

△朝鮮農會報（第六卷六號） 本號には朝鮮道府郡別人口戶數を精細に調査せるものを附錄とせり（一冊二十錢京城中部貞善坊太廟洞朝鮮農會）

△ポケット日鮮會話 篠田信二氏の著にして普通の朝鮮語自修書と趣を異にし實用に適せるものを多く揭げし點に就て一新機軸を示せり（一冊五十五錢京城本町日韓書房）



召使れ初

第九十九回 黑法師

『てん〳〵手鞠が誰がついた、あの山越ねて里越ねて、川に績いた乙女子がついた』

節面白く歌ひふて、私の手鞠をちよと此時椽の簾の風に動く彼方、秋草の花の露乾かぬ庭に、懷しくも愛らしき聲聞ねて、政姫は侍女等を相手、手鞠つきて戲れたまふ。

『樣々、御覽遊ばせ、彼に蝶のやさしいのが眠つてござります、春の蝶とは違ふて、秋の蝶は憐れにも勢がござりませぬ』と侍女の一人は氣を付けぬ。

『眞にのう、恰で畫に描いたやうおやのう』

『紫陽花が手鞠見たやうに、美しう咲いてござります、その上に蝶の眠つたは什麼にも云へぬ好い姿ござります』

『私の鞠へれ蝶が來て、眠れば好いを………蝶よとまれ、菜の葉にとまれ、菜の葉が厭なら手毬に止まれ』

『樣々ござりますとか、御機嫌好う御遊びと遊ねまする』

澤野は簾をすかしながら云ふ。

『日でどれ庭で餘念なられ遊びぢやわの』

『れ相手には侍女衆、れ乳母どのござりませぬか』

『乳母は昨日から風邪引いて、宿へ下つてゐるさうぢや』

『そりやれ淋しいことでござります』

と澤野は緣の上へする〳〵出て、手づから簾を捲き上げつゝ『樣々、什麼とござります』

『蝶の可愛らしいか眠りてゐるわの』

と政姫は餘念なし。

『眞に蝶も樣々も、れ優しうあらせござりまするな』と澤野は愛に堪ねぬ如く『此方へ來らせませ、好いれ菓子でござります』

『れ菓子よりはこの蝶々欲いわの』

『まア左樣に仰せ遊ばさいで、これへれ越しでござりませいの』と澤野は手を取つゝ。

『茶々たもれいの、手毬に興じて、甚う咽喉が乾いて來た』

『その樣にれ行儀惡うなさせられてはなりませぬ』と唐橋は睨むやうに『澤野どのへた禮を仰せなされませ、澤野どの姫樣御爲め、どれほど御苦勞なさるかも知れませぬもの』

『澤野どの』

『早うれ禮を申させられ。此上まだ樣取るほどに云ひつゝ『れ中﨟樣もれ越しござります』

『樣よ、樣々よ』と唐橋は座も動かさず『蝶の眠りを驚かさせてはなりませぬで、これへれ越し、ちよと顔見せて給はらせ』

『唐橋居やるか、をゝ其處に居やるかの』

政姫は手にせる手毬も、目に付きたる胡蝶も捨てゝ、逸散に緣の上へ駈け上らせぬ、年は十三の秋も過ぎ、色白く眉美しく、光澤も好く濃き髮を下げ結びにして、淺黄綸子の被布ににこ〳〵と笑を含みて、唐橋の側近く座を占めの爲め、甚う御苦勞なされるでござります』

『をゝ、知らであつた、澤野恕してたもの』

『勿体ない、何を仰せござります、樣々は澤野御主人、主の爲めに身を碎くは、家來の常でござりまするわの』

『唐橋の命令ぢや、背きはならぬ、什麼じや知らぬ、禮をいふぞよ』



京城新報

內地人の自治体

民團存廢問題は、愈々世人の注意を惹起せる問題となれり、曾て總督府が本年の民會議員選擧期日前に當つて選擧を見合す可く告示して、間もなく之を執行せしめたる事に溯りて考ふれば、早くより總督府當局者は此問題に對して色々と心を碎きつゝありしものゝ如きも、其意嚮の未だ外に見はれざるが爲に、方今種々の揣摩說は傳へらる、悲觀せる者は曰く『總督府にては民團を廢すると同時に、民團經營事務に屬せしもの擧て之を府尹の手に收め、內地人に對する行政上、內地人中より學識ある者兩三名を拔き諮問機關を作り議會制は絕對に存置せざる方針なり』と樂觀せる者は謂へらく『併合後の今日居留民團の名稱を存するは甚だ相應しからず故に其名目を更め實體は依然存續せらる可し』と、二說孰れが眞なる耶、吾人之を知らざるも、今回の府尹會議に於て、民團存廢問題が重要なる諮問事項に置かるべきは、事實ならむと想はる、故を以て吾人は、府尹會議に向つて、本問題に對し愼重を缺き世間の非難を招くが如き事なきを望めり、前に掲げし樂觀說を信ぜとなば、吾人の希望は實に無用の事に屬すれども角民權の無視せられて、官權萬能の振舞はさるゝ事を往々にして見る今代にあつては、悲觀說又決して冷淡に聽流す可からず、統令半島政治の上に未だ斯る不祥の事なしとするも豫め民意の存する所を進言し、益々總督政治の美を發揮せしむるは、蓋し無用の業にあらざる也。否歡希者にして此覺悟ありてこそ、始めて國家の進運を見る吾人何ぞ徒らに辯を弄せむや。

民團存廢問題。吾人をして直截に曰はしむれば、居留民團の名稱を撤去すとも時宜に適せる者にして之に左袒するも內地人の自治團體を根本より覆へして總て官權に依て支配せんとするは斷じて不可なりとす。解體を主張する者は何の必要に因りて內地人既得の權能を奪はんとするか、顧れば我國力の鮮土に稀薄なりし時に來つて、國民膨脹の種子を蒔き、徐々に發展し、他の指導に俟たずして自ら教育衞生其他公共の設備を整へ、孜々として經營に努めつゝある中に、居留民團法の發布に併なひ統監府令として居留民團規則制定せられ、終に公法人格を認められ茲に一層自治の根基を固め、今日の如く誇るに足る可き集團經營の美績を示すに至りし、其間に於ける內地人の勞苦、之を近く國の擴張せる時代に來つて、不足なき官舍を給せられて厚遇に安んじをる官吏の所謂勞苦なるものに比して其雲霞何ぞ。如此積年の勞苦能く現在の大を致せる自治團體をば日鮮人行政統一の名義の下に無遣作に解體せんとするは、正しく內地人の權能を蹂躙せるものなり、其亂暴實に極度に違ふと云ふも敢て過言ならず、想ふに思慮周密なる寺內總督は、部下にして斯る無謀なる献策を爲す者ありと雖も、之を採用せざるは吾人の信じて疑はざる所なり。適年民長官撰令の出で當時、內地人は擧つて之に反對し、民團の統轄者たり代表者として民團自治に關する發達を有せる民長を官撰となすは、自治制度の精神に悖るものなりと叫び或は民長を官撰とせば民長の地位は官府の意によつて左右せられ從つて民會議員と選擧者たる民長の關係圓滿ならざるに至るべし是自治制度の上に於て最も憂ふべき事也と唱へ、非難百出の結果帝國議會に民團法改正案提出せられ、何時も在鮮內地人に同情薄き多數黨が官邊に迎合せし爲該案は不幸にして議會を通過せざりしも、當時の政府委員兒玉伯が委員會にて民長を官撰となすも民意を無視せず豫め民會に諮問すべしと言明せし附議會の記錄に存す、當時に於ける當局が民意に重きを拂ひしこと又知るべし、此事を知悉せる寺內總督は如何に內地人が自治の完美を理想とし、以て倍々發展の目的を達せんとするかを察し、妄りに內地人の既得權を奪ふが如き事を爲さざる可し、若それ總督にして、吾人の信ずる所に背馳せる事に出でむか、民長官撰よりも以上、內地人を壓せんとするものなれば、內地人の反感從つて大なるものあるを覺悟せざる可からず、聞く京城民團よりは早く自治制存續の必要を陳情し、釜山民團亦近く解體反對の意見書を提出せんとすと、知らず總督の之に處する方針や如何。

東京電報（八日發）

▲御質素なる行啓

今回皇太子殿下北海道行啓に就きては萬事極めて御質素を旨とせられ只御行列中騎兵若干を附さるべき外は何等御平常と異なる事なしと

▲上院總選擧

貴族院の本日議員總選擧は愈々今十日午前九時より華族會館に於て施行す先づ伯爵級の選擧を行ひ引續き開票の後子爵男爵の投票に移れるが伯爵選擧の結果は正午迄に判明すべきも子爵男爵兩級は其人員多數なれば投票は日沒後ならざれば判明せざるべし委細後報

▲廣軌鐵道調查

廣軌鐵道改築調查委員は來る十二日より十九日迄敦賀下關其他の港灣視察を爲すに決す

▲市有反對市民大會

八日午後五時より東京市會開かれ電車市有案を附議するに就き市有反對の急先鋒たる萬朝報社主催となり同日午前十一時より日比谷公園に示威的市民大會を開けり會衆無慮數萬人村松代議士は市會を包圍せよと題し其他諸辯士何れも激烈なる市有反對演說を試みたるが熱狂せる會衆の多數は早く東京市廳に赴き市會の經過を傍聽せんと紛擾を極めたるが警視廳は朝來非番巡查千餘名を驅出し警戒に努めたる爲め幸に大なる椿事を演せざりき

▲宮中參議官會議

八日宮中に於て軍事參議官會議開かれ伊東元帥、齋藤海相、山本、井上兩參議官伊集院軍令部長何れも副官を從へて列席開議伊東元帥より舞鶴、橫須賀兩鎭守府、大湊要港部及第一艦隊特命檢閱使として風紀、衞生、教育其他の狀態に就て檢閱の結果を報告し尙軍事上重要事項に就て協議し終つて各將軍に對し御座所に於て拜謁仰付られ特に伊東元帥に對して優渥なる御諚を賜ひ同時に有馬少將以下檢閱隨員へ一同に對し拜謁を賜ひ別殿に於て茶菓を賜はりたり

▲施藥救療調查

內務省は全國貧民の施藥救療の實狀を調查したるが其結果は設備不完全にして効果なき事を發見したりと

▲北海巡啓御經費

皇太子殿下が北海道全道の御巡啓は初ての御事なれば到處教育工業等を御奬勵あらせらるゝ事となり資金等の恩賜金少からざれば其費用十四五萬圓を支辨せらるべしと承る

▲官吏暑中休暇

本月十一日より九月十四日迄の間に於て諸官吏に對し暑中休暇を賜るべき旨仰せ出られたり

雜報

●府尹會議開會

豫定の如く十日午前八時より總督府會議室に各府尹會議開會寺內總督山縣政務總監各部長官明石總長俵副總裁各部局長各府尹關係各課長約三十餘名列席先づ寺內總督より簡單なる訓示あり夫れより總督の諮問事項に對し各府尹順次答申し正午散會したり

●府尹會議日程

府尹會議は既報の如く十二日を以て終了する等なるが十一日の日程は各府管內狀況報告及諮問事項の答申十二日は寺內總督の一般執務上に關する注意事項等なりと

●府尹會議、總督

寺內總督は各府尹に向つて大要左の如き訓示をなしたり

今回府尹會議を開催したるは特別の問題あるに非ざるも新官制實施後に於て新たに府尹の管轄に歸したる府內內地人及鮮人の發展狀況に關し諮問をなし尙之に對して意見を述べ其行政事務につき打合さんが爲めに外ならずと訓示し引續き各諮問事項を打合せて十二時散會したり

●漁業稅法發布期

漁業令及同施行細則は過般發布されたるが其實施期に關しては各種關係規則の編成を待たざるべからざるが主として漁業稅法の決定に依るものにして同案は既に當局の成案を經て目下法制局に廻付し審議中なるが遠からず制令として發布さるべしと云ふ

●會議所臨時總會

京城商業會議所にては去る六日總會を開きて會頭以下役員の選擧を行ふ筈なりしが會頭選擧に就き山口派と中村派と二派に別れて激烈なる競爭ありて遂に山口派の勝利に歸したるも此結果紛擾起り副會頭以下の役員選擧を行ふ能はず遂に延期したるが十日午後六時より臨時總會を開きて副會頭以下の選擧を行ふ由なり因に七日以來山口派は翡翠に中村派は蝶々に陣取互に畫策する所あれば今夜の總會は愈々兩派の反目をして大ならしむるに至るべし

●京城商議の紛擾

京城商業會議所に過日の會頭選擧に於て無端も山口中村兩派の紛擾を起し山口には僅かに一票の差を以て當選したる次第なるが茲に憂慮すべきは今後の會議所にて同所は現在に於て八千五百圓の借金を有し其償却に苦しみ居る有樣なるが若しも山口氏にして會頭たらんか今後課金を拂はざるもの續出すべく從つて同所の會計は益々困難となるべし尤も今回の紛擾に付ては由來するところ甚だ深く其異相を知れる某々氏等は昨今兩派に說いて調停に勉め居る由なるが右調停者の意見として傳へらるゝところに因れば元來會頭なるものは全會一致若しくは大多數を以て擧げられてこそ其職を全ふし得れ僅か一票の差位にて當選したる場合に於ては今後紛擾の繼續は免かれざるべきに付き此際山口中村の兩氏に議員辭職の勸告を爲し兩派の感情を融和し他に適當なる會頭候補者を擧げんとするなりと云ふ

●朝鮮在監者數

六月末に於ける京城監獄外七本監及十三支監の在監人は八千九百四十八人にして內母國人七百十二人外人（支那人）百三十一人、鮮人八千〇九十七人なりこれを前月末に比すれば百八十三人の增加と云ふ因に監獄設置以來日尙淺きを以て收監するのみにて出獄者は至つて少なく每月平均二百人位收監しつゝありと云ふ

●漢湖農工銀行上半期の成績

……久能支配人談……

當行は申すでもなく開城、春川、江原、太田、公州、忠州、淸州の各支店及出張所の如き何れも稀有の好成績を占めたり即ち此決算純益金二万三千八百五十圓にして前年同期の約倍數以上の純益を得たり之れ前期利子計算の方法及繰越金約五千圓ありしに因ると雖も尙從來銀行財產として計上し居たる什器類は今期より金庫の外凡て財產に計上せざる事としたり此の差額及四千餘圓を加算せば大體に於て破格の成績を示せりと云ふを得べし要之經濟の狀況は昨年下半期より非常なる活氣を呈し米大豆の格高價なりしと大豆の如き一昨年來次第に需要增加し其の結果年每に作付反別の增加を來たし現に漢江流域に於ける過去三四年間の比較を示さんに四十年即ち四年前の今日に於ては其の總收穫高僅々二十萬圓に過ぎざりしが現今四十餘萬圓の收穫を見るに至れり之れ其の一部分に過ぎずと雖も蓋し其の一斑を窺ふに足るべし尙從來產米の販路は單に日本內地に移出するを以て其の主なるものとし居たるも昨秋來浦汐、滿洲の各方面に需要を仰がるゝに至り其の結果次第に米價騰貴し當業者は勿論無智の鮮人に至るまで米穀の買込盛んに行はれ一面數年來猖獗を極めたる各地賊徒の鎭定等各種事業の勃興に連れ當行及支店出張所等に至るまで昨年十二月の如きは最高限度まで出資したる有樣なりき然るに本年五月末までに約四五十萬圓の返金ありたり斯の如く資金に彈力を帶ぶるは當路者の最も喜ぶべき現象なりと云ふべし今後三南線工事の進捗に伴ひ元山改良米の產物たる咸鏡平野より產出する約十萬石の米穀を當地と直取引さるゝに至るを豫想せば其の繁忙の如何は今より豫測し得べし云々

●朝鮮活版製造所

當地江川活版舍主江川貫太郎氏の主唱に因り和田常市氏其他の贊成發起に係る朝鮮活版製造所は資本金二十萬圓中四分の一拂込の株式會社にて目下總督府に向かつて設立認可申請中の由なるが聞くところに因れば同所設立の暁に於ては活字製造及印刷事業に從事するものの由にて發起人諸氏の見込によれば今後同社の商賣區域は獨り半島のみならず滿洲までをも包含するものなれば同社事業の有望有利なることは疑なしとの事なり

●行旅病者數

京城民團にて收用する行旅病者は每月百八十人位にして每日平均六人位の割合なりと

●京釜線の滊車不通

數日來の降雨の爲め洛東江の支流出水し京釜線大邱新洞間に在る橋梁陷落して此間は旅客徒步して次の列車に乘替へざる可からず又密陽撤川間に在る鐵道の袖石垣破壞したる爲め滊車不通となれり

●平南線脫線

平南線上列車は昨夜眞池驛に於て脫線したるも乘客に異狀なかりしといふ

●商銀の總會

朝鮮商業銀行は來る十九日廣通館樓上に總會を開き上半期業務報告及利益配當等を行ふ筈也

●●●●寺尾事務官入京

新義州稅務支署長寺尾氏は事務打合せの爲め十日入京一兩日滯在の筈

●●●●熊谷氏平壤赴任

國民新聞京城特派員熊谷直亮氏は今回平壤民長に推撰せられたるを以て兩三日中に赴任せらるゝ由なり

●●●●貴族の養蠶

朝鮮貴族の養蠶に付ては屢々報道したる通りなるが今又完順君邸、李容植邸、韓昌洙邸其他二三者は夏蠶を掃立て目下飼育中なるが蠶兒は已に初眠にありて發育可良なりと云ふ右に對して京畿道廳及京城府廳にては教師を遣し便宜を與へつゝあるが貴族間に於て養蠶の行はるゝ如き一般に對し最も好模範と云ふべし

寄書

京城商議の紛擾　革新の機來る

我京城商業會議所が其創立以來幾多の歲月と變遷とを經て今日に到り兎角の批評を受けながらも小にしては京城大にしては全朝鮮の商工發達の爲に盡し來りたるは顯著なる事實にして斯は何人も否む能はざるところなり而るに不幸にして最近二三年間に於て會議所議員間に山口中村の兩派を生じ此兩派の反目軋轢の爲に會議所事務の澁滯を來し延いて同所の活動を鈍からしめ世間の輿望に反せし事少なからざるが今や反目軋轢の結果は過日の會頭選擧會に現はれ第一の投票には山口太兵衞中村再造の兩氏全投票數三十票の各半分づつを收め次の第二投票に於て山口氏十六票中村氏十四票の結果を見山口氏は運動の結果一票の差を以て中村氏を制するに到れり而るに此結果を見たる中村派の議員十四名は憤然として袂を列ねて退席したるを以て副會頭以下役員の選擧は遂に行ふことを得ずして今日に到る抑中村氏と云ひ山口氏と云ひ我會議所の爲に過去に於て盡したるの功績は決して尠なからず故に公衆は兩氏に向かつて過去に於ける功績に就いては感謝するを至當として拘現在及び將來に於ては兩氏を會頭となすべきや否やと云ふに氣の毒ながら時勢の進步せる今日に於ては兩氏共にモハヤ會頭たるの資格を失したりと斷言するの外なし思ふに山口中村の兩氏一長一短を有す而かも頭腦の古くして進步せる今日の時に我京城の商工業者の代表者たるに足らざるは同樣なりソレは扨置き山口中村の兩氏當時の夢に憧かれ尙今日に於て黨を樹て派を爲し會頭の當撰競爭を試み醜體を世間に曝露し會議所の體面を傷くるに到りては苦々敷の限りと云ふべし聞く山口氏は僅かに一票の差を以て中村氏に勝ち得々として會頭の椅子に据はり副會頭以下役員の悉くを自派より出すの計を爲せりと何ぞ其暴狀の甚しき見よ會議所は公團體とは云へ今日の處未だ課金強制の權を有せず而るに山口氏にして此際會頭の椅子に倚らんとせんか中村派十四名の議員及び其同志者等は山口氏排斥の手段として課金を拂はざることとなるべし事茲に到らんか如何に山口氏と雖も會議所の今後を無事に持耐へ得るものに非ず思ふに山口氏と雖も這般の消息を解せざる程の人に非ず是に於てか此際山口中村兩氏共に會頭たることを斷念し亦た同時に議員たるを辭せば所謂山口中村の兩派は消滅し局面は新たに開けて新進有力の士を會頭に擧げ會議所其物の發展に資することゝなるべし聞く昨今山口中村の兩派間に仲裁者現はれたりと思ふに仲裁者にして公平ならんか此際山口中村の兩氏を喧嘩兩成敗に處すべし之れ京城商工界平和の爲なり之れ會議所革新の爲なり（本町生）

公人私人

▲村地卓爾（元山府尹）八日浦尾旅館へ
▲橋本豊太郎（木浦府尹）同同上
▲竹崎六次郎（大邱府尹）同同上
▲本田常吉（鎭南浦府尹）同天眞樓へ
▲三增久米吉（馬山府尹）同巴城ホテルへ
▲若松兎三郎（釜山府尹）同同上
▲吉村甚兵衞（內國通運社長）同天眞樓へ
▲小林　生（辯護士）同巴城ホテルへ
▲西田繁市（判事）同不知火へ
▲宮家正義（參政府技師）九日同原金旅館へ
▲秋本豊之進（平壤府尹）九日山本旅館へ
▲深川傳次郎（義州府尹）同浦尾旅館へ
▲長谷川友雄（國民新聞記者）同櫻屋旅館へ
▲塩澤義文（海州憲兵隊長）同海州行
▲服部米太郎（公州憲兵隊長）同公州行
▲前田昇（晋州憲兵隊長）同晋州行

▲京城驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（九日分）
乘車客　四七八　降車客　四八一
乘車賃金　一二六三、七一〇

▲南大門驛貨物發着高（九日分）
發送貨物　四四噸　到着　二九
貨物賃金　二九一、三〇〇

▲龍山驛乘降客（九日分）
乘車客　一八二　降車客　一一八
乘車賃金　二七五、三一〇

▲龍山驛貨物發着高（九日分）
發送　五噸　到着　二五〇
貨物賃金　三九、二九〇

▲京城手形交換高▼

七月十日　金高　一三二、二四五、一九〇　枚數　五三

▲治外法權▼

最近北京から來た人の話に因ると、現下支那に於ける排日熱ダツたら、熾んなもので、ドウにもコウにも、手の附け樣が無い程だソウな、之と云ふのも其起りは英國の煽動に因ることは勿論だが、同時に邦人が支那人を解せずして、何事にも強壓的に臨まんとすることが彼等の反感を誘致したのだとは困つたものであるのだ▲本紙は一昨年に於て日清同盟論を主張したことがあつた、素より微々たる本紙の主張、开が納れられざりしは當然ならんも、記者は當時に於て今日あらんことを憂ふるの餘り、當時の大勢に反して同盟論を主張したのであつた▲今や世人は口に我大陸開[illegible]決すと稱す、而かも解決どころか[illegible]困難になるの[illegible]茲に於てかドウしても清國及び[illegible]仲好くせねばならぬのである[illegible]▲過日道長官會議に於て配付されたる總督の訓示文書は、其內容は兎に角文章としては比較的上乘な方だ、サテ今の役人中でコンナ文章の書ける人は誰ダローと記者は頭をヒネツた、而してダローと當りを附けたのが小松だ▲小松は元綠、今は總督府總務部長官房總務取扱であるが、素は新聞記者であつた、新聞記者たりし小松にして始めて併合の詔告文も亦た今度の訓示文書も書き得る、然るに之程の文才を有する彼が記者として立たば、相當の名を爲す可きに好んで官界の群に伍し居るとは惜しいものだ▲商業會議所の紛擾は益甚しい、トコロで山口派は一名の多數を制したからとて鼻息が荒いソウだ、併し山口の我が通るときは會議所は破滅だ▲日韓瓦斯は資本金三百萬圓を六百萬圓に增して事業を擴張するとの事だ、トコロが此頃東京にカブレたのか、當地にも電車電燈瓦斯の市有說がポツポツ聞へて來た、ナル程今の中に總督府が水道のソレの如くチヨツト手を附ければ瓦斯電氣の市有はスグに出來ソウな事だ▲瓦斯電氣と云へば同社八月の總會で岡支配人を重役に擧げてはドウカ、彼れ程の男に寬二の後釜だけでは可哀相だ。

安命根等の公判

▽七月十日地方裁判所にて

安命根一派並に新民黨の梁起鐸外十七名に係る公判は十日より來十四日まで京城地方裁判所に於て開廷されたるが今其の左記被告に對する起訴事實左の如し

安命根、朴晩俊、裴敬鎭、李承吉、韓淳稷、崔鎣磬、金鴻亮、都寅權、崔明植、元行燮、金爺淵、張倫根、楊星鎭、高奉守、朴淳秉、韓植敎、金庸濟

起訴事實

●第一　被告安命根は日韓併合に反對して暴動を起す爲めに其資金を徵發するを目的とし黃海道松禾信川等の各郡に於て財產家より錢財を强奪せんことを企て同志なる被告朴晩俊、裴敬鎭、李承吉、崔鎣磬、金鴻亮等を說き落し共に被告等は孰れも其計畫に贊成し左記犯罪事實に付實行に付之を幇助したり

一、明治四十三年十一月十八九日頃被告安命根は短銃を携帶して被告朴晩俊と共に黃海道松禾郡下龍門面牛亭洞天錫志方に至り錫志の子敬天を同家の後方小丘に誘出し金五千圓を出金すべしと迫りたるに敬天は之れを拒絕したりしも被告安命根は直に短銃を打向け脅迫したるに依り敬天は大に恐怖して出金を承諾し翌日金千圓を同月二十三日頃金二千圓を被告朴晩俊に交付したる三千圓の內二千圓は被告安命根所持し居り既に三百六十五圓は負債償却の爲費消したり

二、明治四十三年十一月二十一日被告安命根は短銃を携帶して黃海道信川郡大井面朴淳秉方に至り同家の客室にて同家の主人関泳渦に面會して金二千圓の出金を迫りたるに関泳渦は之を拒絕したるより被告安命根は直に短銃を差向け若し出金せざれば射殺すべしと脅迫したるに依り関泳渦は非常に恐怖して承諾し數日間の猶豫を求めたるに依り被告等は之を承諾して立去りたり然るに関泳渦は其後親戚に相談の上警察に之を訴へ出で保護を受けたる爲め遂に强奪の目的を達するに至らず

三、明治四十三年十一月三十日頃被告安命根、李承吉の兩名は各短銃を携帶し被告裴敬鎭と共に信川郡邑內三里李源植方に到り同家の客室にて李源植に面會し金一万圓を出金せよと迫りた短銃を差向け脅迫を加へたる爲め李源植は恐怖の念を生じて遂に出金を承諾し五日間の内に調金すべしと命じて立去りたり而して被告李承吉、裴敬鎭の兩名は屢々李源植方に赴き出金を迫りたれども李源植は言を左右にして容易に出金せざるに依り被告安命根は十二月二十六日頃被告崔鎣磬と共に再び李源植方に到り空しく時日を遷延したる理由を詰問し若し至急に出金せざる時は家族一同を全滅せしむべしと脅迫したるに依り李源植は到底出金の止むべからざることを覺悟し同月末頃安岳に赴き邑內の財產家より合計金五千九百圓を借用することを約定し本年一月七八日頃雇人柳在馨を安岳に遣はし借入金五千九百圓を受取らしめたり然るに被告金鴻亮は恰も同日柳在馨に面會したるを以て其實狀を被告安命根に告げ安岳にて調金したる顚末を聞知し居りたり故に被告安命根は好機逸すべからずと思推し同月十一日頃被告韓淳稷と共に各短銃を携帶して李源植方に到り種々脅迫し遂に現金六千四百圓及金高四千圓の票一葉を强奪して六千圓の內八百餘圓は被告安命根、裴敬鎭の兩名にて幾分づゝ費消したり



東方橫綱 太刀山

●第二　被告安命根は黃海道安岳邑內は殷富にして多數の財產家も在住し居る事を知りたるを以て同地の財產家より錢財を强奪せんことを企て明治四十三年十二月十九日被告韓淳稷と共に各短銃を携帶し安岳邑內に赴き豫て親交ありたる被告元行燮方に宿泊し同人に對し財產家を襲擊して財物を强奪せんとする計畫を語り同意を求めたるに被告元行燮は直に之れに贊成したるを以て即夜被告楊星鎭、朴淳秉、高奉守、韓植敎を元行燮の宅に於て十二月二十日安明根は邑內楊山學校に到り豫て親交ある被告金鼎、金亮濟、都寅權、元行燮、楊星鎭及同人等の盡力に依り集合したる被告崔明植、金爺淵、張倫根、金庸濟等に面會し前同樣に安嶽邑內に於て財產家より財物强奪の計畫をなし居る事を語り被告等の贊成を求めたるに被告等一同は孰れも之れを贊成したるを以て同日夜半を期し邑內の財產家元明瑞、元植固、元植均、崔若權、金桂守等を襲擊することに決定し一同午後十一ことを約して一旦解散し被告安命根は同夜十一時頃被告元行燮、楊星鎭、朴淳秉、高奉守、韓植敎、韓淳稷と共に習樂觀に赴きたるに被告金鼎、金鴻亮、都寅權、崔明植、金爺淵、張倫根、金庸濟等も亦同所に集合して豫定の如く財產家の襲擊を實行せんとしたるに偶々被告安命根が前夜電報を發して招ぎたる李承吉も來り會はず且安岳邑內の財產家は陰曆十二月に至らざれば多額の現金を所持し居らざるべしとの說を主張するものありたる爲め同夜は實行を延期して更に本年一月中旬(陰曆十二月十五日)に期し夜襲を決行する事に決定し其夜は解散したり然るに本件の首犯たる被告安命根は本年一月十日逮捕せられたるに依り遂に强奪目的を達するに至らざりしものなり

右起訴事實に依り同裁判所大法廷に於て塚原裁判長鎌田兩陪席伊藤檢事立會の下に被告及被告辯護人大久保木尾の兩辯護士外鮮人辯護士六名出廷し審[illegible]白を強ひられたるものなりとて事實を否認したり

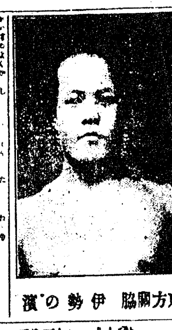
女振り

中尾啓一君女次　中尾つや子

中尾啓一君、と云つたら知つて居る人も有るが知らぬ人の方が多からう、南山町の甘いも鹹いも知れ盡み次第料理屋「汁粒兼料理屋「松園」の主人が此の中尾啓一君である、と斷つたら知らぬ人は無からう、況んや其處の評判娘いつやさんと有つては知らぬ人の恥辱であらう、啓一君は穀類を商ふて居る彼の料亭『松園』は實に其の次女つや子さんと其の姉さんとの共同經營で御賢梅は姉さんの受持で客席への配達(つや子さんの口吻)がつや子さんの受持であるので、夫れで一日の賣上高が平均三十圓は御座います、とはつや子さんの直話である、偉なる哉女の働、姉さん板場妹さんの配達で他人一人使はぬ內職にして此れである、繁昌の原因は種々あらうが要するに料理が美味いからで無いてとは云ふ迄もないのだ、れ手輕、氣が置けない、すし、汁粉、酒と撰取りに任した便利と云ふ點にあることは勿論であるが尙は此の以外の大原因は即ちおいつやさんの娘姿である、現に某辯護士は普通小料理屋の娘と罵つに見て烈しく罵り倒されたことがある、本年十八歲、產れは長崎

仁川海水浴と京城

仁川海水浴設置の報一度傳はるや京城間の紳士には贊成の意を表するもの續出し殊に山縣政務總監及石塚取調局長官同夫人等は一昨日特別會員の申込をなし同石塚局長は三伏の炎熱を仁川に避暑すべく既に稻田氏の別莊を借受け家族帶同にて不日引移らるゝ由因に海水浴開始は雨天の爲め延期となりしが愈々今十一日開場の筈なり



東方關脇 伊勢の濱

●膓窒扶斯患者死亡

大橋積藏なるものは四五日前內地より渡來明治町の某の許に身を寄せたる者なるが九日罹病十日死亡したり時節柄注意が肝要なり

●藤井等控訴さる

北鮮羅南三輪の監獄事件として世に喧傳されたる清津所屬辯護士藤井太郎外一名に係る詐欺取財被告事件は過般京城地方裁判所清津支部に於て無罪の判決ありたるが係檢事は右判決を不當として今回京城控訴院に控訴したり

●仁川鮮人の盜難　仁川府內面平洞三十七統七戶沈榮澤方へ七日夜何者か忍入り衣類雜品代十七圓餘を竊取さる

●牛に逃げらる　仁川新町一丁目高野周三郞所有の朱安牧場にて八日牡牛一頭逃走し行違不明となり屆出づ



東方小結 土州山

●古城藥局の乳素賣出し　當地本町四丁目古城藥局の一手販賣品淺川醫學博士發見乳素は粉末なるを以て腐敗の恐なく「コンデンスミルク」の如き糖分無く小兒の養育に最便利なり其原料中に玄米を含有せるが故に脚氣病に効あり由効能及定價等少細は廣告欄に付見らるべし

東京大相撲乘込期

東京大相撲太刀山一行の釜山に於ける興行は素晴らしきものゝ由なるが愈々同地十一日打ち揚げ十二日京城乘込

十三日初日と決定

本町一丁目郵便局前空地に於て晴天五日間興行と確定したり初日

重な取組は左の如し

八ッ房　四闘岸　輪飾　青葉嶽
勝田嶽　加藤山　能登嶽　太刀の音
天王山　大崎　玉ノ川　海山
寒玉子　敷島　小野ヶ崎　鏡川
陣立　五十嵐　有明　金ノ花
鳳　平の石　土州山　黑瀨川
伊勢の濱　鐵甲　上ヶ汐　國見山
太刀山　大蛇潟
京城日報御好角力
上ヶ汐　五十嵐

●東京大角力と仁川

東京大角力太刀山の一行は來る十八九日頃仁川にて晴天二日間興行の筈なれば同地に元たる中央料理店組合にては七日來券番に會合し夫々準備に付き協議する處あり各料理店の役割及角力場の仲買人等は略々決定したる由因に同一行の中年寄陸奥村右衛門外小屋方二名は七日下仁尾崎旅館に投宿し種々準備に取蒐り居れりと云ふ

●竊盜犯と傷害犯

金聖七(四五)は竊盜犯にて淸國人薛華子(三二)は傷害犯にて何れも南部署より檢事局送り

●演藝だより

●歌舞伎座　木村猛夫一行十一日(三日目)の替り狂言は同人の十八番なる「人の親」全十場なりと云ふ

●浪花館　合併演藝會十一日の演物西國旅行、淸元曇染櫻、二ッ玉、茶びんねぶり、たつ波、白虎隊、いちくらべ、書生節、音曲

●歌舞伎座寸評

△七月九日雨の初日

馴染の木村猛夫が最愛の妻と同列で歌舞伎座の蓋を開ける今日が初日だ行つて見たらばドちやロかいと勸められたまゝに立ち出でる生憎の雨……此の頃の京城で雨は餘儀ないが……に風さへ少し加はる容足が何うあらうかと氣遣つたのが關屋で甚が不入だ一座に對して氣の毒だと思つた、藝題は『恩』と云ふ、明白に白狀するが僕は所謂壯士俳優なるものを好かん、が故に多く見ぬ、が故に俳優君を知らん、が故に確評が出來んから見たまゝの感じを一寸書かして貰はう、元來何んで新俳優を好かんと云ふと臭いからだ、新らしい臭いがらだ、新らしから新らしいだらう新らしうげしよう、と放散する新らしい臭味の頭腦に上るに堪られないからだつた……元より舊い方には舊い臭氣のあることと無論だが……山口の臭さは云はず川上の臭さも聞はぬ、只モウ一列一體に臭ひ、伊井も高田も緣の木村猛夫は何うか何國へ行つても立派な腕は有りながら成功せんではないか……所謂……左樣云へば須藤定憲も榮譽ある不成功者であつた……彼れは所謂成功するには餘りに臭味がない、俳が木村を見た刹那の感は此れであつた、羽田海岸の立廻り新舊折衷の型、面白かつた木村の呼吸や若い者(名を知らず)との呼吸とがシックリ合つて併し然を云へば幕切れが少し間が伸びた、下谷根岸の場女優君子の古谷夫人寄井の古谷老人共に善くしたり木村の武藤下谷署長、其の眞目……イヤ其の眞目でないよ——充分調子も善く悠も利いた時に君子の藤井役の下に居るを『夫れでは御挨拶が』の邊り自然にして芝居氣もあり吐けて吐息も吐けぬ面白さ、說諭の件は少しく辭きを感じたり、君子役夫人、女優の一得女の聲音の無理もなく、子役を抱き寄せて『た母さんも口惜しい』の邊りシンミリと泣かせたり、寺田役古谷、此の優はれ芝居を爲ぬ人なりとか死に角此れには此れと云ふて見せ場もなければ評に及ばず、此の『恩』と云ふ芝居は一種の敎育となる今一度善き時を見て演さんことを望む從つて人の子の父兄たるもの及び人の子たるものは十歲位からの小供にも見せて宜しかるべし、切、喜劇『洋行戾り』喜劇を仁〇加と同樣に心得たるは不心得なり仁〇加には場當りクスグリにてクスグリは全然不可、然れば如何も宜しけれど喜劇は其の筋が可笑しきなる事ありても父とか兄とかの頭へ手を上げる抔は筋にあれば格別器用にての場當りは全然不心得なり、特等の入十錢、一等六十錢、二等四十錢、三等二十錢と云ふ安いものなり(ぼく生)

公告

第二七號
一金十圓也
右ハ西小門外住山口明治郞殿ヨリ今般令夫人死去ニ付供養ノ爲當民團行旅病者收容費ヘ寄附相成候條此段公告ス
明治四十四年七月十日
京城居留民團役所

物品拂下公告

一土管各種四万四千七百三十二本
一瓦　同　參十五萬千四百三十八枚　二口
右賣却ス買受希望ノ者ハ七月四日以後總督府官報又ハ會計局營繕課ノ掲示ヲ看ルヘシ
明治四十四年七月十一日
朝鮮總督府

●諸公債諸株券
現物賣買、迅速確實に御取扱可申候兼業
既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店 田中友吉商店
電話九九三 電話長(夕)

秋蒔新種大販賣 ◎書入說明附美本一冊◎
精撰 新播大安賣
御申込次第無代進呈
東京內藤新宿電車終點際
日本種苗株式會社

●からだの弱き人
●ちゝの無き小兒
●貧血及衰弱の人
●病氣及病後の人
牛乳に優る數倍
醫學博士淺川範彥氏發見
乳素
價は牛乳の三分一也
●乳素は粉末也牛乳嫌ひの者に適す
●胃腸脚氣喘息等には殊に偉効あり
●滋養に富み代價の安き事世界無比也
●內務省衞生試驗所の分析及牛乳との比較表御入用の方へは早速送呈す
●乳素は有名の藥店及食料品店にあり
定價 大六十五錢(牛乳四升五合分)地方送 小三十錢(牛乳一升七合分)料十二錢
東京市上野櫻木町三十九番地
製造元 高橋逸局
電話下谷一五一番 振替口座一八六五一番
代理店 朝鮮京城本町四丁目角 贊化堂 古城藥馬
電話一〇二番

神易活斷
京城旭町一丁目 (高千園の下) 山の內

小兒かんむしの良藥
効能 ○ひかん○むしけ○ちゝあまし ○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ ○かべつち○かむ○かほておし つりなどに大効あり



價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す
代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂
同 南大門通二丁目 新井藥房

三輪・井上兩博士方劑
懷中良藥 消化 毒けし
●中暑水傷 ●食慾不振 ●しぶり腹 ●頭痛目眩 ●嘔吐下痢 ●酒毒味增 ●胸腹の痛 ●船車の酔 ●悪疫豫防
などに最もよくキクよ
何人も御服用あれ
仁丹は藥
THE JINTAN ジンタン 仁丹
代理店 京城南大門通 新井藥房
電話一〇六八番 振替口座京城十六番

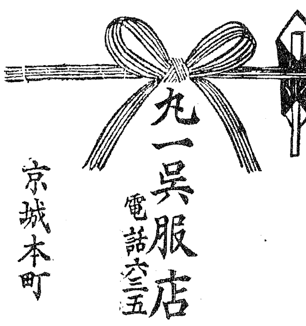
最上醬油 登錄商標
山十
千葉縣銚子町
釀造元 岩崎重次郎
京城本町壹丁目
發賣元 三已商會
電話七五三番

神經を老づめ腦病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

腦病全治新藥


記憶力惡き人頭痛する人神經衰弱にて氣分鬱ぐ人常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
定價 五錢二週分 八十五錢 一日分 三週分 七日分 四十五錢
本舖 大阪心齋橋 分店 大阪平野町 東京日本橋 北丹平商會藥房 丹平商會分店 丹平商會支店 全國有名藥店に取次す
代理店 京城南大門通二丁目 新井藥房
電話九百四番◉千六十八番 振替口座京城十六番

中元大賣出し
七月五日より十五日迄
本塲名仙 四圓五圓六圓均一
割引券御持參の方に限特に一割引
京城明治町一丁目
秩父屋關根出張店
電話四三番

中元の
御贈答は常に品數多く安價を以て誇となす丸一に御適當品を御撰擇被下度新柄を蒐集し巽の廉價に勉强仕候間優美なる商品切手在之候間多少に不拘御用命奉願候

丸一吳服店
電話六三五
京城本町

資本金五百萬圓
東京建物株式會社京城派出所
本店 東京日本橋區吳服町一番地
派出所 京城旭町二丁目百十五番戶
電話番號 一六八一番
一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築
建築費用は尤も薄利に請負申候又月賦償却金一千圓に對し五ヶ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候今や好期續々直接に御申込を乞ふ

義齒術全般
京城南山町二丁目(伊藤組前に入る)
小倉三郎
電話

製粉の元祖
TRADE MARK
SUN RISE
一、別上特製品
一、大陽一等品
一、敷島二等品
一、月世界三等品
一、大和四等品
一、菊世界五等品
最新式發動機を使用し良好なる原料を撰び精製仕居候間多少に不拘御注文之程偏に奉希上候
京城中部琵琶町(水標橋通)
京城製粉所
電話一〇八二番

最上醬油
高
釀造元 仁川萬石町
高杉醬油釀造所
電話七六五番

最上醬油
京 大 高
永登浦大塚釀造所

新茶賣出し
精撰本塲


右新製品澤山着荷仕り宇治靜岡各國銘茶と共に精々吟味仕卸小賣共大勉强仕候間倍舊御引立且つ不拘多少御注文の程願上候敬具
銘茶 鰹節 海苔 小賣卸
仁川宮町二丁目
㊣ 青島商店
電話七〇九番 振替京城六〇番

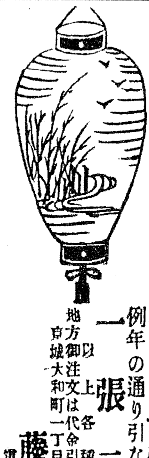
日本蓄音器商會 日本譜 各種品揃
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候
大聲發音器

朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番 振替口座八七番

整骨專門治療院
龍山櫻町百十一番戶
毎日午後二時より五時迄出張
但し先代よりの家傳と當時の治術とを折衷し如何樣の折骨脫臼も之を治療せしむ
主任醫 村田泉一
先代の門弟 助手 中野伊之七

新荷着
浪平板 洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商
佐野彥藏商店
電話一六三番 振替口座京城一二〇番

弊店特色
▲確實 ▲懇切 ▲秘密嚴守
●有價證券に對し低歩を以て融通の便宜取計ひ可申候
公債株式現物問屋
京城旭町一丁目
井上清一商店
電話長壱六五番
◎株式界は大勢に反抗しつゝあるも早晩意外の活動ある乎さ被存候◎期米の波瀾も目睫に迫り日々入電總ての機關具備致居候

正札付大安賣厘毛引なし

ねろし賣割引仕候
例年の通り引なし小賣
一張 二十五錢
以上各種あり
地方御注文は代金引換にて御送付仕候
京城大和町一丁目(日の出橋際)
藤井出張店
電話二〇五番

弊館には夜營の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館
眺望の好き事第一なり
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

★株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十四番 振替貯金口座 一三八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、橫濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、宇田、桑名、名古、屋、熱田、四日市、山田、松阪千葉
東山道 盛岡、盛山、彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋若松、福島、秋田、館代、土崎、青森、仙台、北方、加納
北陸道 金澤、小濱、敦賀、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、高岡、新井、鯖江、大聖寺
山陰道 米子、境、松江、久手、太田、倉吉
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府
南海道 小月、下之關、明石、和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、八今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道 小樽、函館、札幌、旭川
臺灣 臺北、臺南
樺太 太泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、義州、晉州、馬山、南州、大邱、龍南、新義州、城津、開城、濟州、大田、金泉、安東縣、大連、營口、奉天
諸銀行一般の業務精々便利取扱可申候

薄口醬油

特約販賣 仁川京城 高雄支店

京城西小門通六番戶
入院隨意
菅醫院
電話一三一五番

芙江公州間定期出帆廣告
芙江發公州行毎日後一時四十分公州着後六時
公州發芙江行毎日前七時芙江着後四時
船內御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜線芙江驛前 中條運送芙江支店

瀛船出帆廣告
キ
三宮丸 七月中 屯串行 七月 日前八時
天草丸 海州行 七月一日前一時
成歡丸 滄島行 七月十日前九時
海利丸 海州行 七月 日前二時
成歡丸 汰沽芝行 七月 日前一時
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七三番七五〇